

教育目標 卒業時自己評価

教育目標	行動目標	令和6年度生	令和5年度生
1 人間を身体的・精神的・社会的側面から理解し、対象者を生活する人として理解する基礎的能力を学ぶことができる	1) 対象の身体的・精神的・社会的側面について捉えることができる	3.5	3.1
	2) 看護の対象である生活者としての人間を理解することができる	3.3	3.2
	3) 援助を通して対象の健康レベルがわかる	3.4	3.3
2 人々とよりよい人間関係を築くことができるよう、コミュニケーション能力、技術を身に付けることができる	1) 多様な価値観を受け止め良好なコミュニケーションをとることができる	3.4	3.1
	2) 他者に自らの考えや意見を正確・適切に伝達できる	2.6	2.9
	3) 他者の意見や指導を受け止め、自分の成長に活かすことができる	3	3.2
3 医師、歯科医師、または看護師の指示のもとに療養の世話や診療の補助技術を、対象者の安楽を配慮し、安全に実施することができる基礎的能力を身に付けることができる	1) 原理原則に基づいた、基礎的看護技術を修得できる	3	3.1
	2) 対象の状態や変化を観察し、報告することができる	3	3
	3) 対象の個別性に配慮した援助ができる	2.9	3.9
	4) 日常生活援助が安全にできる	3	2.9
4 疾病を持った人々と家族のさまざまな考え方や人格を尊重	1) 対象とその家族に関心を持ち、思いやりのある行動がとれる	3.3	3
	2) 倫理に基づいた看護援助ができる	3.4	3
	3) 准看護学生としての責任を自覚し、行動できる	3.4	3
5 保健・医療・福祉チームにおける各職種の役割を理解し、チームの一員としての准看護師の役割を果たす基礎的能力を身に付けることができる	1) さまざまな社会資源や職種について理解できる	2.9	3.3
	2) 多職種との連携の必要性が理解できる	3.3	3.2
	3) 保健・医療・福祉チームの一員としての、准看護師の役割が理解できる	2.9	3.3
6 継続的に自らの能力を維持・向上するべく自主的に学習に取り組む姿勢を身に付けることができる	1) 学習課題に積極的に取り組むことができる	3.1	2.9
	2) 授業や実習において疑問や探求心をもち、主体的に取り組むことができる	3.3	3.1